

ぼくは、新聞を読まない。仮に誰かに「なぜ」と問われたら、ぼくはこう答えるだろう。「魅力がないからである」

たしかに新聞には、たくさん人の情報がつまんでいる。政治やスポーツ、それに事件・・。いろんな事か書いてあり、読んでは損はない。いや、むしろ読むべきことなのだろう。そう、ぼくもその内容に興味がないわけでもない。正しく言うとは、読まないというより、読みたくないのだ。「なぜ」

「文字に魅力がないからである」
あのぎっしりとつまた文字。ぼくは、残念なことにそれに飽きてしまっただけ。
そこでぼくは考えた。文字に魅力を持たせよう。文字だけで読ませるような文。三行にしたらどうかと。直接目に、脳に染み込み飛び込んでくる。そんな文字。想像しただけで、楽しそうではないか。それに、写真も三行になるわけだから、スポーツ欄の迫力はすごいだろう。仮に、サッカーの記事でシユ

トをうっ瞬間かどび出ていたら、か、こよくで、その選手を好きになることかできるかもしれない。他にしても同じである。人を好きになること、憧がれることは、人間として牛二んな新聞かできて、みんなの手配られるようになったら、その第一感想は、
「これはすごい」
だろう。ぼくも、こんな新聞なら読みたい。